

魅力づくり拠点（ものづくり，文化・交流） 下京区西部エリア，
京都市リサーチパーク地区

駅名	丹波口駅（JR西日本）		
駅の種類	広域拠点	地域複合拠点	● 日常生活を支えている地域
	● 魅力づくり拠点	● ものづくり ● 文化・交流	● 観光・サービス ● 大学・研究

地域の特徴

- ・本地域は，下京区の西部に位置し，駅周辺には，日本最初の卸売市場でもある「京都市中央卸売市場第一市場」（以下「第一市場」という。）が，京都の食文化の中核を担う施設として立地する。
- ・また，わが国最古の公許遊廊の島原の大門等の歴史的な建築物や，梅小路公園を中心とした様々な施設（京都水族館，市電広場等）があり，地域の文化・交流拠点となっている。
- ・さらに，新産業創造・育成拠点である「京都市リサーチパーク地区」があり，主要な道路の沿道には商業系用途の集積が図られている。

土地利用現況

- ・西本願寺や島原など，歴史的・文化的価値を有する資源が多数存在している。
- ・梅小路公園では，平成 24 年に京都水族館が開業し，来訪者が急増している。また，平成 28 年春頃には，京都鉄道博物館が開業する予定である。
- ・七条通の商店街には，物販店舗が軒を連ねており，地域のにぎわいの一翼を担っている。

道路等の基盤整備状況

- ・西七条・丹波口地区の再開発事業により道路基盤が整備されている。
- ・五条通では，8車線化の工事が完了しており，引き続き街路樹整備や電柱撤去等の整備が行われる予定である。
- ・七条通（大宮通から西大路通間）では，自転車専用道の整備が進められており，更なる道路基盤の強化が進められている。

現状と課題

- ・現在，下京区西部エリアとその周辺地域も含めた京都駅西部エリアにおいて，将来ビジョンと概ね今後 10 年間で取り組むべき方策を明らかにし，京都駅の周辺地域とともに，京都全体の大きな飛躍につなげていくことを目的とした「京都駅西部エリア活性化将来構想」を，平成 27 年 3 月中に策定する予定である。
- ・第一市場については，再整備計画が進められており，平成 25 年度に基本構想が取りまとめられ，その基本構想に基づき，現在，詳細な整備計画の検討を進めている。
- ・JR山陰線の京都駅－丹波口駅間における新駅の設置について，平成 27 年 2 月に JR西日本と京都市において協定を締結し，平成 31 年春の開業に向けて，現在，検討を進めている。

エリアの将来像

- ・新駅の設置に向けた検討やまちづくりの推進など，まちの魅力の向上や交流人口の更なる増加に向けた取組を進め，京都駅の周辺地域とともに京都全体の大きな飛躍につなげていく。
- ・具体的には，策定を予定している「京都駅西部エリア活性化将来構想」に基づき，歴史文化資源や産業資源，宗教，学術関連施設，梅小路公園の再整備等によって魅力にあふれたまちの資源を面的につなぎ，地域全体の魅力を更に向上させる。

注）本見直し検討案は，検討途中の資料であり，今後の検討により，内容が変更される場合があります。

参考資料 2

※ 第3回検討委員会における資料4-7（検討編）7に新たに加筆及び修正を加えたもの

都市計画の見直し検討案

- ・現在，まちづくりの将来像及び具体的方策などを盛り込んだ「京都駅西部エリア活性化将来構想」の策定に向けた検討が進められていることから，将来的なまちづくりの動向を踏まえて，都市計画として対応する必要がある場合は，適宜，都市計画の見直しを検討する。

